

## IAP と IAC について

### IAP - The Global Network of Science Academies

IAP は 1993 年に設立された国際学術団体であり、現在 107 カ国のアカデミーがメンバーとなっている。本部はイタリアのトリエステ。日本学術会議は 1996 年に加盟して以来、積極的に IAP の活動に携わっている。2000 年 5 月には IAP 総会を東京にて開催。2004 年～2006 年、2007 年～2009 年、そして現在の 2013 年～2015 年、執行委員会のメンバーとして活動。IAP から近年出された声明としては「熱帯雨林と気候変動」「薬剤耐性:対応要請」「合成生物学におけるグローバル・ポテンシャルの実現:科学の好機と適切なガバナンス」などがある。

### IAC (InterAcademy Council)

IAC はその母体を IAP とし、特に科学的助言・提言を行うために 2000 年に設立された。現在 2 名の共同議長及び 15 の理事（国・地域の科学アカデミー）で構成。本部はオランダのアムステルダム。日本学術会議は創立以来理事メンバー。2004 年に最初の報告「よりよい未来の創出（仮訳）」を出し、その後、科学における女性問題や持続可能なエネルギー問題などにつき報告を出している。2010 年には気候変動に関する IPCC 報告の作成過程について検証を行った。これら報告書作成に携わる専門家も IAP メンバーアカデミーの協力により選出される。